

27 藤橋の六部堂

市指定

史跡

公

開



- 所在地 植田谷本66-2
- 交通 西武バス「六部堂」

江戸時代、寛政年間（1789～1801）のこと、六部姿の行者小平次（ぎょうじゃ・こへいじ）がこの地を訪れ、鴨川に藤の蔓（つる）で編んだ不便な橋しかないことを知り、当地の薬師堂に滞在して村々を回って勧化（かんげ）を行い、立派な石橋を建立しました。昭和12年にコンクリートの橋に建て替えられ、また数年前に現在の橋に架け替えられましたが、当初の石材がここに集められています。

藤橋を建立した行者小平次はこの地で没し、徳を慕った村人によって六部姿の石像が祀られています。